

# 「治療を続けながら働く人を 応援する事業者の皆様へ」

治療と仕事の両立に向けて、オール京都で応援します。

## 両立支援はなぜ必要？

働く世代で病気の人が多い！

- ・病気を理由に1か月以上休業している労働者がいる企業の割合はがんが21%、脳血管疾患が12%です。
- ・仕事を持ちながら、がんの治療で通院している人は、32.5万人

がんは不治の病から長く付き合う病気に！

日本人の2人に1人が生涯に1度はがんになるといわれています。治療技術の進歩により、かつては「不治の病」とされていた病気も生存率が向上し、「長く付き合う病気」に変化しています。

病気になった人も仕事を続けたい！

病気になっても働き続けたいとする人は、92.5%もいます。生計を維持するためや、治療費のためはもちろんですが、自分の仕事に期待してくれる人々がいることは、病気と闘う励みになり、生きがいにもなります。

社員が、重い病気になってしまったが、無理なく働き続けてもらうためには、どうすれば良いのだろうか？



## 両立支援は、事業者・働く人ともにメリット！

### 事業者(会社)のメリット

- ・貴重な人材資源の喪失が防げる
- ・継続的な人材の確保、人材の定着
- ・労働者のモチベーションの向上による労働生産性の維持・向上
- ・健康経営の実現
- ・多様な人材の活用



## 安心して働ける職場・企業の成長へ

### 働く人のメリット

- ・治療に関する配慮が受けられ、病気の悪化が防げる
- ・治療を受けながら仕事が続けられる
- ・継続して収入が得られる
- ・仕事による社会貢献や自己実現
- ・安心感、モチベーションの向上



## 京都府地域両立支援推進チーム

両立支援の取組の連携を図り、病気を抱える労働者が活躍できる環境を整備することを目的として、京都府内における両立支援を推進する関係者（国・自治体・医療機関・関係団体等）で構成するチームです。

（事務局：厚生労働省 京都労働局労働基準部 健康安全課）

# 治療と仕事の両立支援 京都府内の相談先一覧

## 職場の休暇制度等、労働条件を整備したい

平日：月～金曜日  
年末年始・祝祭日を除く

名称	所在地	電話	【利用日・時間】
京都労働局総合労働相談コーナー	京都市中京区金吹町451	075-241-3221	平日 8時半～17時15分
京都中小企業労働相談所	京都市南区新町通九条下ル 京都テルサ内	0120-786-604 075-661-3253	月～土 9時～13時 14時～21時(土曜は17時)
京都府社会保険労務士会	京都市上京区弁財天町332	075-417-1881	(予約制) 水曜 10時～16時

## 労働者が働き続けながら治療を続けられる制度を導入したい

名称	所在地	電話	【利用日・時間】
(両立支援についての相談) 京都産業保健総合支援センター	京都市中京区梅屋町361-1 アール・ネックス御池ビル 東館5階	075-212-2600	(予約受付) 平日 9時～16時
(助成金についての相談) 最寄りのハローワーク 又は 京都労働局助成金センター	(助成金センター) 京都市中京区虎屋町566-1 井門明治安田生命ビル2階	(助成金センター) 075-241-3269	平日 8時半～17時15分

### 個別の両立支援の進め方

#### 労働者が事業者へ申出

- ・労働者から、主治医に対して、業務内容等を記載した書面を提供
- ・それを参考に主治医が、症状、就業の可否、作業転換等の望ましい就業上の措置、配慮事項を記載した意見書を作成
- ・労働者が、主治医の意見書を事業者に提出



#### 事業者が産業医等の意見を聴取



#### 事業者が就業上の措置等を決定・実施

- ・事業者は、主治医、産業医等の意見を勘案し、労働者の意見も聴取した上で、就業の可否、就業上の措置（作業転換等）、治療への配慮（通院時間の確保等）の内容を決定・実施

「両立支援プラン」の作成が望ましい

